第５章　社会参加と交流の推進

老人クラブの活性化（第６期計画Ｐ53）

【事業概要】

○老人クラブ活動は昭和 35 年から始まり、現在 27 の単位老人クラブが、地域美化活動や奉仕活動、ボランティアや趣味の活動、レクリエーション等多様な活動に取り組み、単位老人クラブからなる滝川市老人クラブ連合会では、高齢者に外出を促すイベントなどを行っていますが、60 代で現役で活躍されている方も少なくなく、新たな加入者が減少し、役員の成り手がいないことなどが原因で単位老人クラブ数は減少しています。

【計画内容】

○老人クラブの活動は、生きがいづくりや健康増進、外出機会の創出等介護予防の観点からもますます重要となってくることから、組織や活動の在り方などについて検討し、老人クラブの活性化とともに、会員・団体の拡大に努めます。

【事業実績】

■老人クラブの状況

	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
単位クラブ数	２６クラブ	２４クラブ	２３クラブ
会員数	９４５人	８７３人	８３３人

【課題等】

○高齢者人口増に老人クラブ会員数が比例していない状況であり、各単位老人クラブの高齢化、入会者数減少により存続が困難な老人クラブが発生している。要因としては「老人クラブという名称への拒否感」や「個を重んじる風潮や趣味・価値感の多様化」などの社会の価値観の変化などが考えられる。

○平成 28 年度における「滝川市中央老人福祉センターのあり方を検討する市民会議」からの答申内容を踏まえた検討を要する。

中央老人福祉センターの在り方の検討（第６期計画Ｐ53）

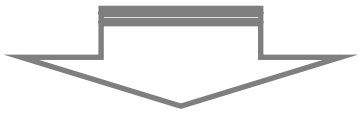
【事業概要】

○昭和 57 年 4 月に開設し、現在は滝川市老人クラブ連合会が指定管理者となり運営・管理を行い、高齢者の趣味と憩いの場、健康教育や健康相談等各種催し物の会場として利用されています。

センターに看護師を配置し、毎週火曜日の入浴日には利用者の血圧測定や健康指導を行っているほか、月１回市内の単位老人クラブ全てを訪問し、健康相談を実施しています。

【計画内容】

○開設以来 30 年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、老人クラブの活性化方策や、滝川市公共施設マネジメント計画を踏まえ、センターの在り方について検討します。



【事業実績】

■センター利用状況

	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
延利用者数	１２，４５６人	１１，２４０人	１０，９２２人

■センター利用の目的別内訳

	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
趣味・娯楽	７，１８６人	６，２３７人	４，５４５人
入浴	１，７９８人	１，６４６人	１，７３５人
機能回復訓練	３，０３７人	２，８３３人	２，９０２人
市老連各種会議	４３５人	５２４人	５４６人
いきいき百歳体操	―	―	１，１９４人
合　　計	１２，４５６人	１１，２４０人	１０，９２２人

【課題等】

○前項の「老人クラブの活性化」と併せて、今後における老人クラブの在り方を含め、「滝川市中央老人福祉センターのあり方を検討する市民会議」からの答申内容を踏まえた検討を要する。

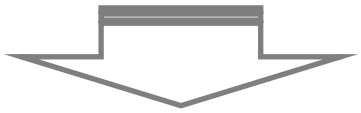
敬老事業の実施（第６期計画Ｐ54）

【事業概要】

○高齢者の長寿の祝福と敬老の意を表し、敬老事業実行委員会と連携し、88歳・100歳を迎える方に祝い状及び祝い品を贈呈します。

【計画内容】

○敬老事業実行委員会において、「敬老の意」を表する内容も含め、敬老事業の内容を検討します。



【事業実績】

■事業対象者の状況

	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
対象者数（８８歳）	２１２人	２１４人	２１６人
対象者数（１００歳）	１１人	１２人	１７人

【課題等】

○高齢化が進展する一方で、市民の敬老事業に関する意識の薄れについての指摘もなされている。敬老事業実行委員会との連携を継続し、子ども世代を含めた市民への敬老事業に関してのさらなる啓発を要する。

高齢者生涯学習の充実（福寿大学）（第６期計画Ｐ54）

【事業概要】

○福寿大学は、昭和 50 年４月に開始され、60 歳以上の方を対象に「自己の豊かな経験や能力を活かし、健康の維持増進、趣味や教養の向上を図りながら、生きがいのある充実した生活を送ることを目指す」ことを目的として開講しています。
４つの分校で年間 10 回程度の講座を行い、高齢者の知的好奇心を満たし、生きがいづくりや健康・体力の維持増進に効果を上げているほか、学生で組織する自治会主体による研修旅行や大学祭の実施、文集の発行、また、市内小学校で昔遊び体験などの世代間の交流やボランティア活動も積極的に行っています。

【計画内容】

○今後の高学歴な高齢者の増加も踏まえ、学習内容の一層の多様化、高度化などの魅力アップと学生数の拡大に努めます。

【事業実績】

■福寿大学参加状況

・平成２７年度～在籍者数１４４人（男２２人・女１２２人)、講座出席率６３．９％
・平成２８年度～在籍者数１３６人（男１９人・女１１７人)、講座出席率６３．６％
・平成２９年度～在籍者数　９９人（男１５人・女　８４人）

【課題等】

○老後の穏やかな学びを福寿大学に求める年代がいる一方で、活動的な若年層の台頭もあり、各々の要望する学習内容が多様化してきている。そのため、２つの階層を同一レベルのカリキュラムでカバーすることが難しくなってきている。

○生涯学習のあり方について検討を進める中で、福寿大学の根本的な仕組みの再構築を要する。

高齢者の積極的な社会参加の促進（滝川市シルバー人材センター）（第６期計画Ｐ55）

【事業概要】

○屋内外の一般軽作業、施設管理、サービス分野における補助作業等を提供し、地域における高齢者の就業の場の確保と就業促進、健康と生きがいづくりを図っています。

【計画内容】

○団塊の世代が会員となる時期を迎えることを踏まえ、高齢者の多様で豊富な経験や技能が生かせる機会の確保に向けて、高齢者がその能力を生かして地域社会の需要に応え、働くことを通じて健康を維持し、生きがいを求める場として、滝川市シルバー人材センターの活動を支援します。

【事業実績】

■シルバー人材センターの登録・受注状況

	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
登録会員数	３０３人	２８１人	２６１人
受注件数	４，５８３件	４，５５５件	４，２２４件

【課題等】

○定年延長や再雇用制度などを活用している人が増えており、新たに入会する人が少なく、会員数は年々減少傾向にある。

○登録会員の確保に向けさらなるＰＲを要する。